

ふうちゃんのひとりごと

あさの 風子

ひとり旅にでる 神戸編

目次

2015・04・30(木)		
ひとり旅にでる…		1
2015・05・03(日)		
従妹違い(いところがい)		10
2015・05・17(日)		
たぶん、あしたは雨になる		14
2015・05・18(月)		
しらんかお		17
2015・05・23(月)		
わたり鳥		20

2015・05・26(火)	
ぎんいろの波	23
2015・06・02(火)	
今日だけなんだから…ね	28
2015・06・14(日)	
他人ごと	37
2015・06・19(金)	
悲しいねっ！	42
2015・07・14(火)	
この頃のこと	46
2015・07・28(火)	
その理由	

ゴールデンウィークは わたしの場合あまり関係ないけれども、毎月5週目はレッスンがお休みで、日常から離れてひとりで過ごしたくなり、神戸のベイエリアへ向かいました。

28日はハーバーランド **Umie** 周辺を歩き、海辺ではたくさんの方が春を満喫していました。アンパンマンミュージアムがすぐ傍にあって、観覧車がよく見えました。名前のおり、1940年代？ のアメリカのオールドソングが流れ
(映画「きみに読む物語」で二人が出逢った時代



に流れていた曲に似ていたから)、フリーマーケットや、屋台などのお店がたくさん軒を並べています。やがて、クルーズ船が汽笛を鳴らして出航して行きました。

そもそも、お昼を食べてから家を出たので、早めにホテルにチェックインしなくてはなりません。

海岸沿いを海の景色を眺めながら、写真を撮りつつ ゆっくり歩いてホテルに着きました。

高層階のお部屋ではなかったのですが、ベランダから海の景色が十分見渡せるので満足しました。

夕食はお部屋で、具だくさんの天井を食べました。美味しかったけど、少しもたれました^^;

翌日は、早朝にホテルからまっすぐメリケンパークを散策、その後、元町駅まで行って歩いて帰ってきました。荷物を持って、駅までどのくらいかかるのか調べてみたかったのと、元町商店街にある昔ながらの喫茶店で、小倉ホットケーキを食べさせてくれると言うので（ガイドブックに載ってます）、探してみようと思ったのです。

でも、あまりにも朝が早かったために、休日 歩いている人が少なく、ちょっと怖くなり、お店までは行きませんでした。場所は大体分かったものですから…

今は iPhone があれば、迷わず目的地に着けますしね。

ホテルに帰ってから、バイキングの朝食をゆっくり食べてシャワ

一を浴び、チェックアウトぎりぎりの時間までゆっくり過ごそうかと思ったのですが…

予定より早めにチェックアウトして、バイエリアの近くの旧居留地あたりも見て回ることにしました。ふだん朝、散歩を30分以上するので、歩くのはちっとも苦にならないのだけれど、お土産をホテルで買って荷物が多くなったから、どうしようかと迷ったのです。でもやっぱり、自分の足で見て回るのがいちばん楽しいから、タクシーはやめて歩くことにしました。

旧居留地のビルディングはレトロで モダン？だけ



れど、近くでは写真に入りきれないので、いくつもの所で諦めました。それに、行きかう町の人の中で立ち止まって、パシャパシャ写真撮っているといかにも観光客っぽくて恥ずかしいですしね。

大丸百貨店をなんとか iPhone のカメラに捉え、そこから 元町商店街に足を踏み入れました。

そしてそのまま目的のカフェへ… 以前羽田でホットケーキが欲しくなって探したけれど、結局 薄いパンケーキしかなくて諦めた経験があるのです。



倉敷のアリオの、とある喫茶で「よしよし ここはホットケーキが

ある！」と思って注文したら…

すごく時間がかかって、お腹がグーッ(*_*)

でも、こちらのお店は、ちょうど良いぐあいに運んできてくれました。近所のお馴染みさんがカウンターで新聞を広げて見ているし、ウエイトレスさんは年配の人ともう一人で 気配りがいい。テーブルは昔あったようなこじんまりしたテーブル、シュガーポットも懐かしいタイプ。

そう言えば学生の頃、こんな感じの喫茶店でバイトしたことがあったっけな…

アーケード通りは昔ながらのお店が並んでいて、たくさんの家族連れで賑わい、岡山のかつての表町商店街を彷彿とさせました。

でも表町は残念なことに、駅の近くにはないから、今では閉店したお店も結構あるんだとか… ちょっと寂しいですね。

結局 神戸駅まで歩き、それでも、帰るまでにもう一度海を見たくなって、ハーバーランドまで戻りました。

大木を囲んでいる、大理石みたいな大きな石に座って、海を眺めました。何人も同じように お菓子やパンを食べながら座っています。

クルーズ船が出航を告げています。古き良き時代の曲が流れて、子供達の幼い元気な声が聞こえ、風が涼やかに頬を撫でては 通り過ぎます。

いつの間にか1時間ばかりが経ってしまいました。帰らなくてはなりません。

海を背に神戸駅へ向かって歩き出しました。

その向こうに、わたしの日常は待っています…





従姉妹違(いとちがひ)

2015-05-03 (日)

従姉妹の子供のことを なんて呼ぶのか知ってます？

「従姉妹違」って呼ぶそうです…

その子が教室に習いに来てるんですが、今日は雨だったし彼氏が送ってくれたみたいで、紹介してくれました。

やさしそうな男性で、幸せそう(^_-)

まだ、一緒に暮らして1週間なんだそうです。



今日は、思いがけず雨になりました。ゴールデンウィークでお出
かけの人たちはちょっと、がっかりかな…

毎朝 散歩するのですが、そうすると季節の変わり目が、よく分か
るんですよ。

いつも、真っ暗で見えなかった景色が、ある日ぼーっとパステル
色の風景として浮びあがってきたり…

春の雨はどんな感じに降るんだとか…（今年の雨は春雨っぽくな
かったけれど）

草むらで、蛙や鳥や虫の音がだんだんはっきり聞こえてくるんだ
とか…

優しく朝の日差しは、少し肌に痛い感じで照り始めるんだとか… ね。

そうすると、ちょっと 和歌（うた）が浮かんできたりする…

「ふりしきる 雨に隠れて ^{うぐいす} 鶯の

そぞろに春を 歌うなりけり」

「風や吹き 傘でさえぎる さくら雨

見えるは私の 足もとばかり」

ついでに

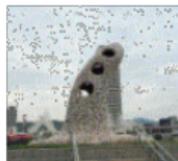
神戸のハーバーランドでのものを…

「懐かしき あめりかのうたぞ 軽やかに
波止場の町に 春風は吹
く」

画像なんか入れると こんなふう…



懐かしき
あめりかのうたぞ
軽やかに
波止場の町に
春風は吹く



たぶん、あしたは 雨になる 2015-05-17 (日)



姫路城に 行った生徒さんから、お土産をいただきました。とてもお天気が良くて、真っ白なお城の壁が すばらしく美しかったそうです。

真っ白と言えば…

その日の朝早く、わたしは空に ひこうき雲を見つけました。

水色の空をゆくひとすじの雲は ためらいもなく 空を二分して続けました。

調べたところ、飛行機の排気ガスの水分が、上空の高い所で冷えて 湿ってしまうとそれが雲として見えるんだそうです。

というわけで、ひこうき雲がよく見える日の翌日は、雨になることが多いんだとか…

知ってました？

みず色の

空に ひとすじ ひこうき雲

モコと浮かびて ゆるやかに行く

そして今朝も、この前よりは 少し遅い時間だ
ったけれども、ひこうき雲を見ました。

だから…

たぶん、あしたは 雨になる__ のでしょう。



うつすらと かすかに なびく

ひこうき雲

たぶんあしたは 雨になる

しらんかお

2015-05-18 (月)

わたしのところには、なぜか いろんな相談ごとが舞い込んできます。

相談ごとなのか、相談ごとにしてしまうのか、定かではありませんが…

パソコンの質問やトラブル相談は当たり前だけど、それ以外のものもろもろの困りごとや悩みごと、たとえば__

就活、婚活、恋愛、子育て、健康、ペットの病気にいたるまで、ほんのちょっとした話の小口からどんどん広がって、ついには他

人ごととは思えないことになり__

わたしにも、こんなことあったし… というところから、憤慨したり、悲しんだり…

全く 経験のないことでも、すぐ自分のことのようにイメージしてしまうから、たわいのないおしゃべりは、いつの間にか 結構なボルテージでわたしの脳内を駆けめぐり、それはいつしか 一大事になってしまうのです。

そして ついには、夕ご飯の支度に遅れ、フライパンの上のお料理はコゲコゲになってしまう運命！

これには、やはり大きな性格上の問題があります。

それは、しらんかおができない という性格 です。

だけれども、そのせいで、わたしは いつも 身近なだれかと一緒にいる感覚を持つのです。

必要とされる？（と思っているのですが…） ということは、生きていてよかった (^_^)v

と実感できるものなのでしょう。



わたり鳥

2015-05-23 (月)

日本では、1年で今がいちばん 気候がいい季節ですよ。
というわけで、空を見上げると、最近はいろいろな鳥を見かけます。

歩きながらゆっくり見ていると、それぞれに特徴のある飛び方をしているのが分かります。

中でもツバメはその飛び方が美しいので、つい行く先を目で追ってしまうのですが、写真を撮ろうとすると いつの間にか視界から消えていて、なかなかiPhoneの カメラには捉えられません。

大きな翼で体は細く、体重も軽いので、高い空を速く飛べます。水面を流れるように飛びながら水を飲み、水浴びをし、昆虫などのエサを捕まえることもできます。

南の国からやってくる時は、群れをなさず、1羽ずつ何千キロもの海を渡ってきます。

太陽を目印に飛ぶので、方向を間違えることはありません。寿命は平均1年半、そして基本的には一夫一妻制のようです。飛ぶ速さは時速50kmから最高200km以上にもなるそうで、新幹線が220kmより速いぐらいですから、その速さが想像できますね。

つばくらめ

えさを求めて 飛翔する

空切る姿の 美しきかな

今朝は、わたしのすぐ傍を過ぎて行きました。

こんなに低空で飛ぶ時は、お天気が崩れる前兆
だと言う人もいます。

空気が湿っていると、エサになる昆虫の体が重
くなって低くしか飛べないので、ツバメもその
ために 低空飛行になるんだとか…

というわけで、明日は雨が降るかも？
です。



ぎんいろの波 2015-05-26 (火)

近くにいなながら、四国に渡ることがあまりなかったので、今日はお天気がいいし、瀬戸大橋を渡って高松、さぬき方面へ行くことにしました。

香川県で有名な観光地は いろいろあるみたいですが、とにかく景色の良い所ということで、さぬき市にある大串自然公園に決めました。



薄青く

けぶる彼方に小豆島

喋々ひらりと

瀬戸内の海

通常は、ワイナリーとか野外音楽広場とかいろいろ楽しめる施設があるのにもかかわらず、今日は運悪くお休みで、観光客の姿を見かけません。

ほとんど、自然を貸切状態です。

おかげで、ゆっくり海を眺めることができました。多少道には迷いましたが…

そこはそれ、いつもの手を使って調べたら、なんとかたどりつけるものですね。



展望台から見る瀬戸内の海の景色は、それはため息が出るくらい美しく、しばらく時をわすれて見入ってしまいました。

日本の地中海と言われる その明るい海と空の調和、悠々と空を飛ぶ鳥の姿、それらは自然の完成品としか言いようもなく…

写真をたくさん写しました。

歩いたらお腹が少しすいたので、帰りは高松にある北浜 Alley という、波止場の倉庫を再利用して作られたおしゃれな一角で、軽くお腹を満たしました。

ノスタルジックな路地裏にある Umie というカフェです。

岡山の間屋町を彷彿とさせましたが お店を探すのに ちょっと苦労したので、やはり少し下調べをしてから、行くべきですよ。



コーヒーもマフィンもおいしかったのですが、どうもオーダーをしてからお菓子は焼いてくれるようで、お腹がすいた旅行者にはちょっと 待ち遠しかったかな (^_^)

窓辺のカウンターで 海を眺めながらのティータイムは、さすがにご馳走でしたけれど…

その後 シンボルタワーへ行って、1階のお土産ショップで タルトなんかを買い、帰路につきました。

4時を過ぎて、帰りの瀬戸大橋から見る海は、まぶしいくらいきらきら輝いていました。



きらきらと 光り輝く 銀の波
後ろに流れて 帰りゆく道

日だけなんだから…ね

2015-06-02 (火)

わたしは、家を引っ越してから駅近くに住んでるので、移動にはよく電車を利用します。

電車に乗ると、女性の最近のお化粧品や髪型、流行の服、バッグ、傘、靴など、美容院やショップで見たり聞いたりしなくても、今、どんなものが人気なのか、自然と分かるようになります。

岡山からマリンライナーに乗って帰宅する時は、余裕で座れる時もあるのですが、時間帯によって、満員のこともよくあります。特に平日の5時頃からはいつも詰め込み状態で、早めにホームに

並んで待たないと、降りるまでずっと立ちっぱなしということにもなりかねません。

昨日も、学生や通勤の人達でいっぱいでしたから、吊革に掴まろうにも 空きがない状態で、なんとか椅子の背に手をつけて、立っている状態でした。



そんな中、まだ幼い幼稚園の姉弟が ひしめく人並みの間を縫って 乗ってきました。

丸亀にあるおうちまで帰るようでした。

お姉ちゃんはしっかり者で、きっと何度もこういうことがあった んでしょう。

この電車を乗り過ごして、次の特急で帰ろうと弟に提案しているのですが、どういうわけか、弟がガンとして言うことをきかないのです。

まだ入り口付近に立っていたので、すぐ降りることもできるはずでした。

出発は少し遅くなるけれども、到着は4分しか違わないし、次の特急はガラガラで、ゆっくり座れるからと何度説得しても、弟は動きません。

手をひっぱっても、返って足を踏ん張って、動くまいと懸命です。ついに、お姉ちゃんの手が 弟の頭を軽くぽんと叩きました。

が、いけないということをよく知っているからか、かげんしてやっている様子…

そのうち、とうとう電車は出発してしまい、二人は 掴まるものもなく、立っていました。

お姉ちゃんは、ずっと弟の方を向いて、自分の言うことを聞かない勝手な行動を責めています。

弟はと言うと、電車の天井の方を見ながら、しきりとわけの分からない文章を、あたかも 意味のある文章であるかのように ぶつぶつぶやきながら、まわりを見向きもしません。

ひょっとして、泣きそうなのじゃないかと思ったのですが、見た

ところ そんな素振りは見受けられませんでした。

次の駅に着き、何人もの人が降りたので、空間が空き、ちょうど彼らの頭ぐらいのところに 掴まり棒があったので、その場所を二人並んで、うまく確保できたようです。

そうこうしているうちに、お姉ちゃんの口調はしだいに穏やかになり…

もしかして、おうちで待っているお母さんのことを 意識したのかもかもしれません。

そして、ついに…

「今日だけなんだからね！！」



… やっと お許しが出たのです。

身長は 同じくらいで、きっと体力もそう変わらないんでしょう。
けれども、お姉ちゃんは お姉ちゃんなのです。

いつも、お姉ちゃんの言うとおりを聞いてきた？あるいは聞かざるをえなかった、なるほど、もっとも、そのとおり、お姉ちゃんの言うことは正しいのだけれど、いつも 言うことを聞くばかりはいやなんだ そういうつぶやきが聞こえてきそうでした。

弟は、今日のこの時 やっと反撃ができたのじゃないのでしょうか。
そして、勝利したのです！

生きていると、なるほど、もっとも、そのとおり、そうした方が
楽で間違いないし、だから、みんなそうしているんだってことが、
よくあります。

だけど、それが分かっているけど、そうはしたくないんだという その
抑えられない自由への渴望というか、そういう気持ちも分かる
んです。

いいこと、正しいこと、得をすること、楽なこと、便利なこと、
そういうことをあえてしないことが たまには あってもいいんじ
ゃない？

これ、悪のすすめ じゃないんです。

世の中の 常識ばかりが いいのじゃない。

自分の したいことは何なのか。

人のすることを 否定もしてみよう。

そして、時には 損なことをしてみる勇気も欲しい。

そうしたら、ひょっとして、今までの自分とは違う自分を発見するかもしれない。

そうじゃないですか？

あの弟の幼稚園生（園児という言葉は不似合いです）は、きっと、そのうち お姉ちゃんを 超えるのじゃないかと

わたしは、思いました。

そして、子供たちの周囲に甘えない態度が すばらしい。

どちらにしても、二人ともに無限大の可能性があるんだってことは間違いのない事実のようです。



ふうちゃんのひとりごと

著 者：あさの 風子

発効日：2015年10月22日

発 行：みつわばそこん教室

=お願い=

この製品の転載、転売 は禁止されています